

企業主導型保育所の取り組み

～子どもの健やかな育ちを支えるために～

2023年1月31日

企業主導型保育事業点検・評価委員会委員

NPO法人ファザーリング・ジャパン理事

認定**NPO**法人児童虐待防止全国ネットワーク 理事

子育てアドバイザー、キャリアコンサルタント、保育士、幼稚園教諭

高祖常子

指定討論

- **定員充足率が低い。**
- 定員割れの施設の場合、保育の質確保が課題に。
- 企業主導型保育の利点を知ってもらう。
(たとえば)
- 職場と近いため、病気になった時など親がすぐに迎えに行くことができる。
- 企業と一緒に行事を考えることができ、勤務中に参加や見学が可能。
- 地域へのPRの強化が必要。

• 自治体との連携がやや弱い？

- 保護者は保育所という視点で選ぶため、自治体は保育所、認定こども園、企業主導型保育など一覧で見られるような工夫をすべき。

(企業主導型保育所からの声)

- 各区役所の保育所相談の窓口からも、企業主導型保育園の紹介をもっと行い、多くの方に認知していただきたい。
- 企業で働いている人しか預けられないと思っている人が多い。

• 研修の柔軟な参加

- 企業主導型保育の保育士向けの研修実施など充実しつつあるが、保育所保育士向け研修などにも、柔軟に参加できることが望ましい。

- 将来的には「幼児教育」というくくりにすべきでは